

市内2つの高校が ポジティブ情報を発信!

吉田高校と向原高校では、「生徒が自分の夢をかなえるためにチャレンジできる学校」として、いろいろな取り組みを進めています。今月号から各高校の特徴ある活動を紹介していきます。

吉田高校



吉田高校は、総合学科の「探究科」と農業を学ぶ「アグリビジネス科」が設置されている学校です。

「自らの生き方や社会に関する課題について、解明する方法を探り出し、究め、これからの社会に貢献する生徒」を育てることを目標としています。

- ICT機器を使った学習
- 多様な学び
- 多様な進路のサポート
- 選択科目の多さで自分作り
- サンフレのユース生とPOWER up!
- 個別の授業で自分らしさをPOWER up!
- 生徒一人に対する教員が多い

広島県立吉田高等学校
吉田町吉田719-3
☎42-0031

向原高校

向原高校は、一昨年度100周年を迎え、長年にわたり地域から応援され、支えられてきました。今後も引き続き地域から信頼され、地域を支える学校であり続けるため、今年度から「向原高校の挑戦」として、世界や芸術線沿いを持続可能にしていくためにSDGsに取り組んでいます。「地域清掃」



私達に出来るSDGsって何だろう？身近な事から、出来る事から。私達のために、地域のために、世界のために。

「絵手紙」「ドローンプログラミング」「安芸高田市調べ」の活動、「さとやま未来博2021」への参加など、さまざまな取り組みを実施。今後も地域に根付く学校として挑戦し続けます。



絵:向原高校 校舍
「自ら学べ向原高校で」

広島県立向原高等学校
向原町坂丸山10006番1
☎46-2322

今年度100歳を迎える皆さま おめでとうございます!!

今年度本市で100歳となる方は31人。対象の方には内閣総理大臣からの祝状と銀杯、市からの祝金が贈られます。10月6日(水)には、被表彰者の1人である美土里町の佐々木ヨシエさん宅を石丸市長が訪問。祝状、銀杯、祝金を手渡しました。ヨシエさんをはじめ、今年度100歳を迎えられる3人の方に今の思いを伺いました。



- 佐々木ヨシエさん (美土里町在住)
- 北川ミサヲさん (甲田町在住)
- 廣田弘さん (八千代町在住)

70歳まで和裁士として着物の仕立てをしていたヨシエさん。元気の秘訣は規則正しい生活。6時に起床し、8時から草取り、12時に昼食、14時ごろまでお昼寝をして17時ごろから手押し車を使って20分のウォーキングに出掛けます。楽しみはデイサービス。お風呂に入ったり、友人とカーブの話で盛り上がることも。「毎日がとても楽しい!」と笑顔を見せてくれました。



家業が酒屋だったこともあり、日本酒が大好き。90歳までお酒をたしなんでいたそうです。今でもお茶碗を洗うなど、できることは自分でしているというミサヲさん。中でもタマネギの皮むきは、早くて美しいと評判です。毎日の暮らしの中で大切にしているのは「ありがとう」を伝えること。周りの方への感謝の気持ちを忘れないことが楽しく生きるコツだと教えてくれました。



好奇心旺盛で意欲的に動くタイプの弘さん。車庫や小屋など、何でも自分で作ってしまう器用な一面もあります。好物はおすし。入院して食欲がない時でも、差し入れのおすしは8貫をぺろっとたいらげたそうです。趣味は筆ペンで字を書くこと。「筆の里工房」主催の「ふれあい書道展」で5年前と今年、2度も賞を受賞した実力の持ち主です。

